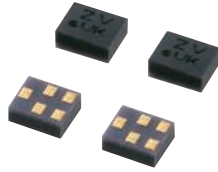


圧電製品

表面波フィルタ（SAWフィルタ）

（新セグメント上の売上高区分：高周波・通信）



SAWフィルタは、圧電基板上を伝わる弾性表面波を利用して、特定の周波数帯の電気信号を取り出すフィルタです。無線通信において各種機器がスムーズに遅延なく通信するためには、必要な周波数帯だけを損失を抑えて通過させ、不要な周波数帯のノイズを十分に落とす減衰特性を持った高性能なフィルタが求められます。フィルタにはさまざまな種類がありますが、ムラタが手がけるSAWフィルタは高減衰・低挿入損失・小型化が実現できるため、スマートフォンでの使用に最も適したフィルタです。

最近ではIoT化の広がりによりスマートフォン以外のさまざまなアプリケーションにも無線通信機能が搭載されるようになっていきます。対応する周波数帯もセルラー、Wi-Fi[®]、Bluetooth[®]、GPSなど多岐にわたっており、スマートフォンとあわせてフィルタの需要は増え続けています。また5G化にともない、搭載される周波数帯の組み合わせがより複雑になること、Sub-6GHzの周波数帯の利用が増えることにより、小型・複合・高周波化の要求は高まる一方であり、ムラタとしてこれらの要求にいち早く対応していくことでSAWフィルタでのビジネス拡大を図っていきます。

ムラタは独自技術を創出できる研究開発体制や、多くのお客様からの受注に対応できる生産体制、安定した品質を提供できる品質管理、全世界をシームレスにサポートする販売網を駆使し、業界を長くリードし続けています。現在は業界最大となる生産能力を保有し、通信用SAWフィルタにおいて50%の世界シェアを獲得しています。

これからの市場ニーズに応じていくため、お客様の要望を的確に把握したうえでムラタ独自のI.H.P.技術やTC-SAW技術に加えて、新規技術のアライアンス強化も進め、優れた製品特性と小型・複合化を加速させることでお客様満足を実現していきます。今後の製品ラインアップにおいても同業他社との差異化を図り、また経済動向が激しく変動する中でも需給バランスに対応した最適な供給体制を維持構築し、より良い製品を提供し続けることで社会と産業の発展に貢献していきます。

事業機会

- 5Gによる新たなアプリケーションや通信端末の誕生と拡大
- IoT機器への無線通信機能付加
- フィルタの高周波化・複合化・小型化

競合企業

太陽誘電（日本）、Qualcomm（米国）、Qorvo（米国）、Wisol（韓国）、Shoulder（中国）など

強み

- 豊富な製品ラインアップ、高いシェア
- 優れた特性（高周波・広帯域・高減衰・低挿入損失・小型化）
- 安定した品質
- 業界最大の生産能力と安定した供給力

リスク

- 米中関係の変化によるお客様や部品サプライヤーの動向
- 競合他社との競争激化および低価格メーカーのSAWフィルタ市場への参入